

4 その他の調査計画(案)

4.1 目的

本調査は、各モデル地域で懸念されている事項や、クリーンアップ調査・フォローアップ調査の結果と合わせて、漂流・漂着ゴミ削減方策を検討する上で必要な事項について調査・検討することを目的とする。

4.2 調査内容

本他調査は 9 項目の調査から構成されている。平成 19 年度に福井県で実施する主な調査の概要を表 1 に示す。なお、の定点観測調査の内容は、資料 4 に示した。

表 1 その他の調査の概要

調査名称	概要
観光資源価値向上の検討に係る調査	ゴミの回収により観光資源の価値が向上するものとの基本認識に基づき、ゴミ回収による潜在的な経済価値向上効果を把握する。調査方法は、関連情報の収集及び検討手法の整理を行い、各モデル地域に合った適切な手法を検討した上で調査を実施し経済効果の推計を実施する(図 1)。
定点観測調査	各モデル地域において高頻度の定点観察を行い、漂着状況を経時的に把握する。調査方法は、デジタルカメラによる定期的な撮影(週 1 回)と出水時の連続観測(10 日間)により行う。
上記以外の「その他の調査」	漂流経路把握調査 国内向け及び海外向け広報活動の検討 流域ゴミ問題ワークショップ(仮称)開催の検討 河口域及び海域におけるゴミ回収方法等に係る調査
漂着ゴミの発生源及び漂流経路に関わる調査	
医療系廃棄物に係る実態調査	
微細なプラスチック破片による生態系への影響調査	

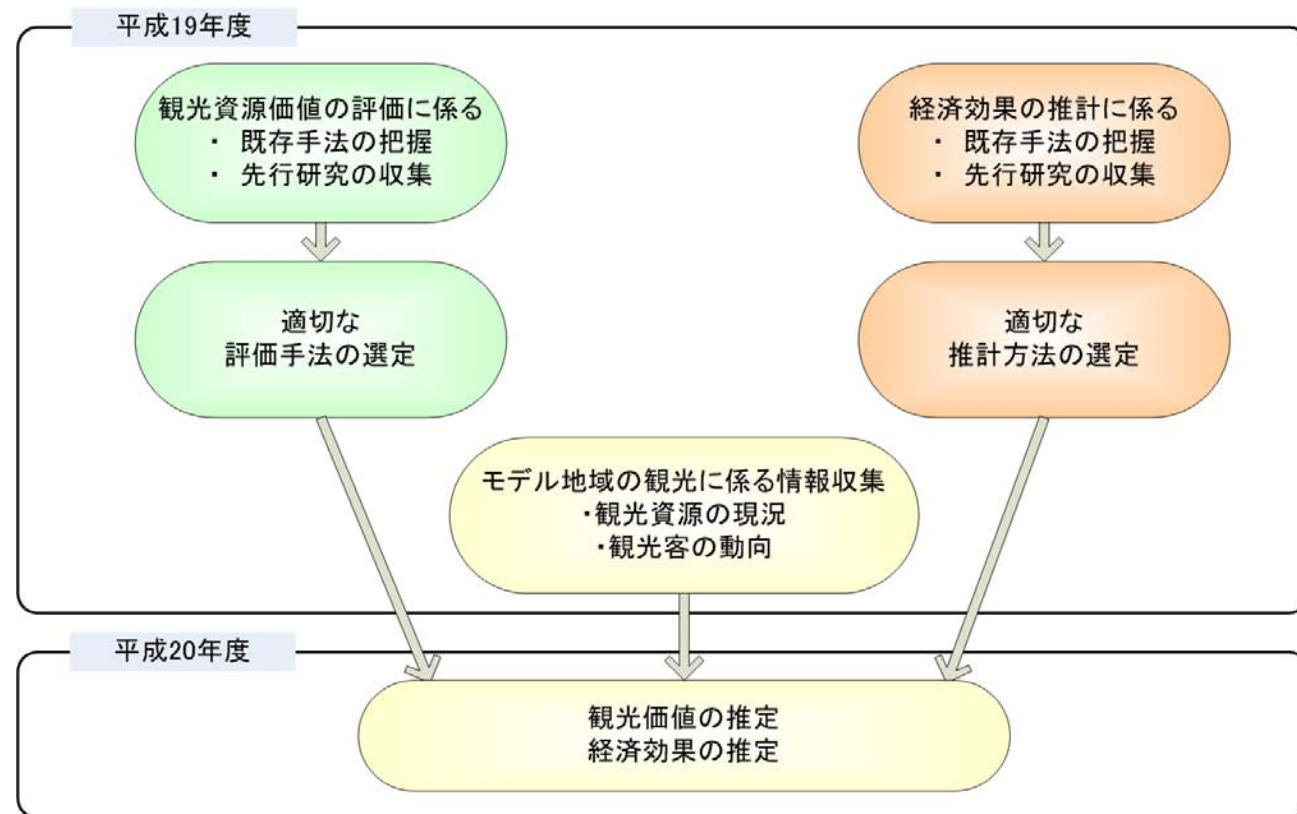


図 1 観光資源価値向上の検討に係る調査の作業フロー

4.3 結果取りまとめ

その他の調査で行う各調査と、漂流・漂着ゴミの発生抑制・除去・漂着防止に係る各施策との関連は図 2 のようになると考えられる。これらの関連性に基づき、関連するクリーンアップ調査・フォローアップ調査の結果と併せて、各調査結果の解析を行い、漂流・漂着ゴミの削減方策の検討に向けた結果の取りまとめを行う。

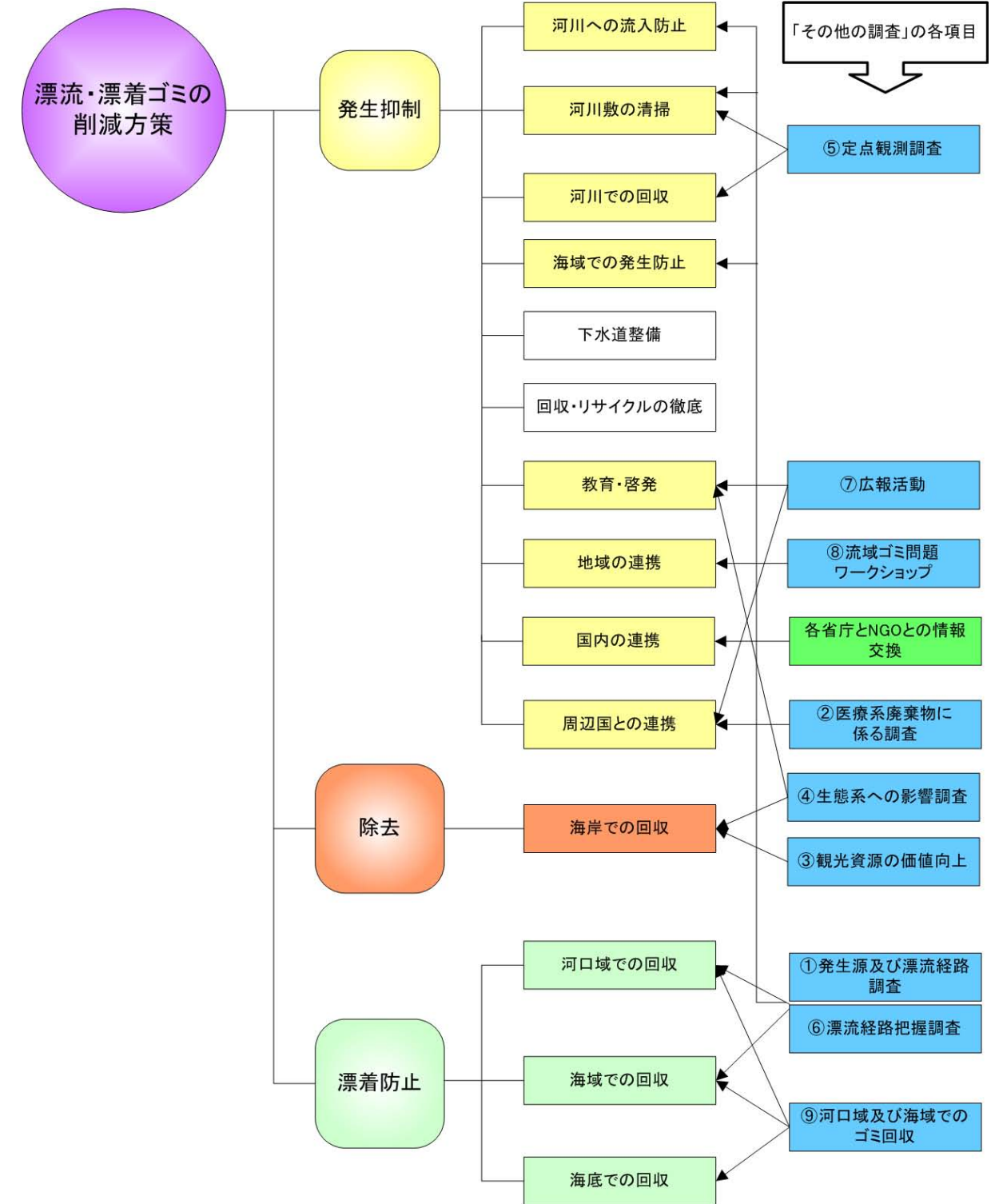


図 2 漂流・漂着ゴミの削減方策と「その他の調査」項目との関係